

武漢事務所週刊ニュース（2015年10月3日～9日）

東西湖“国際スーパー”プレオープン

10月9日 湖北日報

昨日、武漢市東西湖保税區輸入商品直販センターがプレオープンした。100以上の国と地域からの2万種類の商品を買うことができ、15%以上値引きしている。

当センターが東西湖区高橋三路（元東西湖保税物流センター管理委員会）にあり、初期の売り場面積約3000平方メートル、輸入食品、酒類、ベビー、キッズ、マタニティ用品、果物など38種類を含む。

センターの責任者によると、商品は海外で直接購入しており、自社購入率は95%以上である。欧米、中東、日韓、オーストラリア及び国内の上海、寧波、深セン、香港などに20あまりの事務所と物流倉庫を設けており、商品の販売価額は全体的に同類の商品より15%以上安くなっている。

地下鉄3号線の漢江トンネルが貫通、年末に開通する見込み

10月9日 湖北日報

武漢地下鉄3号線の最もハードな部分－漢江貫通トンネルが先日貫通した。去年、一台目のシールド機が漢口宗関の地下に入って

から、半年で掘削工事を仕上げる計画だったが、最終的に1年近くかかった。

3号線の漢江通り抜け部分は漢陽王家湾駅から漢口宗関駅まで、約2,331メートルの長さで、王家湾から漢陽岸辺の換気坑までの部分と、漢陽岸辺の換気坑から漢口宗関までの部分の2ヶ所に分けて工事をした。その中、漢江貫通トンネルは長さが約900メートルで、工事中に漢江の底で特殊な地質にぶつかったため、掘削の進みが難航した。

3号線1期工事は三金潭から沌陽大道までとし、武漢で初めての漢江を通り抜ける地下鉄で、今年の子年末に開通する予定だ。試運転評価審査要求によって地下鉄の開通前に3ヶ月の空白運転が必要となるので、漢江貫通トンネルが貫通していないうちに、既に漢口、漢陽で区間ずつに空白運転を始めた。武漢地下鉄グループの関係責任者はできるだけ子年末に開通するように努めると話している。

3号線1期工事は全長30キロメートルで、24の駅を設置する。開通すると、先に建設している1号線、2号線、4号線とつないで、漢口、漢陽、武昌をつなぐ環状線となる。このことにより、武漢の地下鉄による基本的な交通体系が構築される。